

理想の生活を思い描いたとき、その中であなたは何をしているだろうか？

## 。リッチな生活の10のルール

—1—リッチな生活は、好きではないものへの支出を容赦なく抑えることで、好きなものに惜しみなくお金を使える暮らしのことだ。

—2—大きな勝利——労力に対して大きな成果を生む5〜10のこと——に集中しよう。貯蓄と投資を自動化する、好きな仕事を見つけるなどだ。大きな勝利さえ着実に収めれば、お店で好きだけカフェラテを注文してもかまわない。

—3—投資とは長期的には非常に退屈なものであるべきだ。私は投資の結果を確認するよりも、タコスを食べている時間の方がワクワクする。

—4—支出を抑えるには限度があるが、いくら稼ぐかには上限がない。私の読者の中には年収

5万ドルの人もいれば、75万ドルの人もいる。いずれも同じ食パンを買っている。支出をコントロールすることは重要だが、あなたの収入は青天井で増えていく。

—5— **パーソナル・ファイナンスを改善していく中で、友人や家族から多くのアドバイスをもらうだろう。** 彼らの言葉にはありがたく耳を傾けつつも、惑わされることなくあくまで本書のプログラムを遂行しよう。

—6— **買うべきかどうかを決めるための「支出フレームワーク」をつくろう。** ほとんどの人は制限規則（外食を控えるなど）を設けるが、逆の発想で、何にお金を使うかを決めてもいい。本を買う際の私のルールは、買うかどうか迷った際にはつべこべ言わずに買うというものだ。迷う時間は5秒すら無駄だ。本の中から1つでも実践できる新しいアイデアを学べれば、十分に価値がある。

—7— **先進的なアドバイスばかりを求め続けないようにしよう。** 一歩ずつ着実に改善していくという骨の折れる努力を避ける口実として、そうしている人が大半だ。毎朝10分のジョギングを継続するより、ポストンマラソンで優勝することを夢見る方が簡単だ。あなたが実践できる最も高度なことは、基本的なことである場合が多い。

— 8 — 舵取りをするのはあなただ。これはデイズニー映画ではない。誰も助けに来てくれない。幸いなことに、自分自身でパーソナル・ファイナンスをコントロールし、リッチな生活を築いていくことは誰にでもできる。

— 9 — 自分なりのリッチな生活を築くためには、悪びれることなく人と違うことを受け入れる必要がある。お金という最大の制約から解放されたとき、自分らしいリッチな生活を思い描く自由を得られるだろう。あなたのリッチな生活はおそらく、ほかの人のリッチな生活とは違うはずだ。ありのままの自分を受け入れよう。これこそが最も楽しい部分だ！

— 10 — スプレッドシートの世界に引きこもるな。本書のアドバイスに従って貯蓄と投資を自動化できれば、人間関係や新たな経験、社会貢献など、リッチな生活の最も重要な部分がスプレッドシートの外にあることに気づくだろう。